ダイワ外国債券ファンド
（毎月分配型）
－ダイワスピリット－

運用報告書（全体版）

第156期（決算日　2022年３月10日）
第157期（決算日　2022年４月11日）
第158期（決算日　2022年５月10日）
第159期（決算日　2022年６月10日）
第160期（決算日　2022年７月11日）
第161期（決算日　2022年８月10日）
（作成対象期間　2022年２月11日～2022年８月10日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	無期限（設定日：2009年３月12日）		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	１．ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 ２．ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券	
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券	
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド		
組入制限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10％以下	
	ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

◇TUZ04792202208l0◇

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

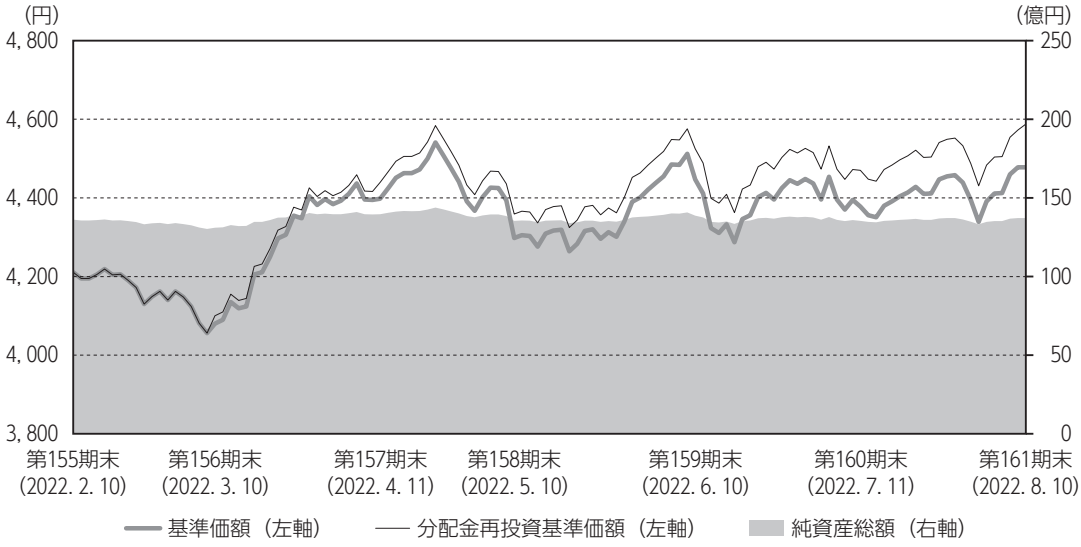
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）		JPモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド（円換算）		公社債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
132期末（2020年3月10日）	4,377	20	△ 8.8	15,851	△ 0.6	17,829	△ 9.8	92.7	—	17,352
133期末（2020年4月10日）	4,105	20	△ 5.8	16,007	1.0	17,130	△ 3.9	94.0	—	16,095
134期末（2020年5月11日）	4,155	20	1.7	15,746	△ 1.6	17,288	0.9	94.1	—	16,223
135期末（2020年6月10日）	4,416	20	6.8	16,219	3.0	18,820	8.9	93.3	—	17,199
136期末（2020年7月10日）	4,350	20	△ 1.0	16,365	0.9	18,407	△ 2.2	93.9	—	16,831
137期末（2020年8月11日）	4,280	20	△ 1.1	16,589	1.4	18,407	△ 0.0	93.7	—	16,410
138期末（2020年9月10日）	4,363	20	2.4	16,563	△ 0.2	18,563	0.8	95.1	—	16,586
139期末（2020年10月12日）	4,303	20	△ 0.9	16,533	△ 0.2	18,402	△ 0.9	96.0	—	16,187
140期末（2020年11月10日）	4,390	20	2.5	16,432	△ 0.6	18,975	3.1	95.6	—	16,359
141期末（2020年12月10日）	4,453	20	1.9	16,564	0.8	19,333	1.9	95.9	—	16,413
142期末（2021年1月12日）	4,494	20	1.4	16,530	△ 0.2	19,226	△ 0.6	95.7	—	16,377
143期末（2021年2月10日）	4,597	20	2.7	16,493	△ 0.2	19,492	1.4	95.1	—	16,522
144期末（2021年3月10日）	4,508	20	△ 1.5	16,705	1.3	19,107	△ 2.0	95.3	—	16,035
145期末（2021年4月12日）	4,519	20	0.7	16,770	0.4	19,457	1.8	95.2	—	15,946
146期末（2021年5月10日）	4,584	20	1.9	16,787	0.1	19,794	1.7	95.8	—	16,015
147期末（2021年6月10日）	4,636	20	1.6	17,077	1.7	20,308	2.6	95.1	—	16,083
148期末（2021年7月12日）	4,548	20	△ 1.5	17,028	△ 0.3	19,780	△ 2.6	95.3	—	15,612
149期末（2021年8月10日）	4,479	20	△ 1.1	17,122	0.6	19,646	△ 0.7	95.3	—	15,245
150期末（2021年9月10日）	4,529	20	1.6	17,068	△ 0.3	19,832	0.9	95.6	—	15,285
151期末（2021年10月11日）	4,436	20	△ 1.6	16,914	△ 0.9	19,622	△ 1.1	95.9	—	14,874
152期末（2021年11月10日）	4,434	20	0.4	17,331	2.5	19,784	0.8	95.4	—	14,704
153期末（2021年12月10日）	4,122	20	△ 6.6	17,135	△ 1.1	19,331	△ 2.3	94.2	—	13,556
154期末（2022年1月11日）	4,153	20	1.2	17,066	△ 0.4	19,556	1.2	94.7	—	13,570
155期末（2022年2月10日）	4,211	20	1.9	16,884	△ 1.1	20,092	2.7	95.1	—	13,617
156期末（2022年3月10日）	4,080	20	△ 2.6	16,612	△ 1.6	18,250	△ 9.2	95.5	—	13,101
157期末（2022年4月11日）	4,398	20	8.3	17,043	2.6	19,626	7.5	95.7	—	13,960
158期末（2022年5月10日）	4,298	20	△ 1.8	17,093	0.3	19,076	△ 2.8	95.5	—	13,533
159期末（2022年6月10日）	4,447	15	3.8	17,483	2.3	20,308	6.5	95.4	—	13,869
160期末（2022年7月11日）	4,378	15	△ 1.2	17,374	△ 0.6	19,657	△ 3.2	96.2	—	13,536
161期末（2022年8月10日）	4,478	15	2.6	17,659	1.6	20,103	2.3	96.6	—	13,717

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
（注3）ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭグローバル　ダイバーシファイド（円換算）は、ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注4）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注6）公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注7）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
（注8）債券先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第156期首：4, 211円
第161期末：4, 478円（既払分配金105円）
騰　落　率：8. 9%（分配金再投資ベース）

■組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	9. 6%	51. 1%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	9. 8%	48. 4%

■基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、債券価格の下落はマイナス要因となりましたが、債券の利息収入や投資している通貨の上昇（円安）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

	年　月　日	基準価額		FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）		JPモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド（円換算）		公社債組入比率	債券先物比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%		%	%	%
	（期首）2022年2月10日	4,211	—	16,884	—	20,092	—	95.1	—
第156期	2月末	4,149	△ 1.5	16,700	△ 1.1	19,674	△ 2.1	95.1	—
	（期末）2022年3月10日	4,100	△ 2.6	16,612	△ 1.6	18,250	△ 9.2	95.5	—
	（期首）2022年3月10日	4,080	—	16,612	—	18,250	—	95.5	—
第157期	3月末	4,397	7.8	17,156	3.3	19,654	7.7	95.6	—
	（期末）2022年4月11日	4,418	8.3	17,043	2.6	19,626	7.5	95.7	—
	（期首）2022年4月11日	4,398	—	17,043	—	19,626	—	95.7	—
第158期	4月末	4,402	0.1	17,161	0.7	19,377	△ 1.3	95.2	—
	（期末）2022年5月10日	4,318	△ 1.8	17,093	0.3	19,076	△ 2.8	95.5	—
	（期首）2022年5月10日	4,298	—	17,093	—	19,076	—	95.5	—
第159期	5月末	4,390	2.1	17,088	△ 0.0	19,714	3.3	95.2	—
	（期末）2022年6月10日	4,462	3.8	17,483	2.3	20,308	6.5	95.4	—
	（期首）2022年6月10日	4,447	—	17,483	—	20,308	—	95.4	—
第160期	6月末	4,448	0.0	17,600	0.7	20,040	△ 1.3	95.7	—
	（期末）2022年7月11日	4,393	△ 1.2	17,374	△ 0.6	19,657	△ 3.2	96.2	—
	（期首）2022年7月11日	4,378	—	17,374	—	19,657	—	96.2	—
第161期	7月末	4,439	1.4	17,643	1.5	19,602	△ 0.3	96.1	—
	（期末）2022年8月10日	4,493	2.6	17,659	1.6	20,103	2.3	96.6	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2022. 2. 11 ～ 2022. 8. 10）

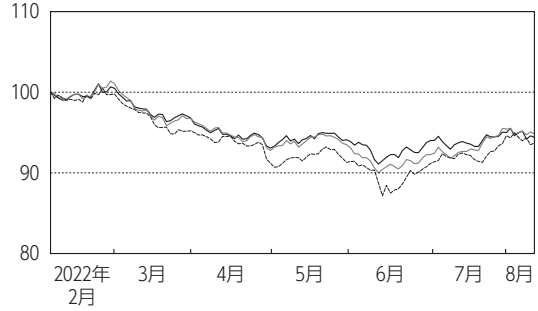
■海外債券市況

・先進国

先進国債券市況は金利上昇（債券価格は下落）しました。

当作成期首より、米国金利は、インフレ率の高止まりやＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の金融引き締め姿勢などを背景に上昇しました。また、ロシアがウクライナに侵攻したことにより、原油をはじめとした資源価格が高騰したことで、インフレ期待が高まったことも、金利上昇につながりました。米国以外の先進国もインフレ率の上振れなどから金融政策正常化が意識され、金利は上昇しました。

債券指数の推移



― ＦＴＳＥ米国債インデックス（米ドルベース）
― ＦＴＳＥカナダ国債インデックス（カナダ・ドルベース）
---- ＦＴＳＥオーストラリア国債インデックス（オーストラリア・ドルベース）

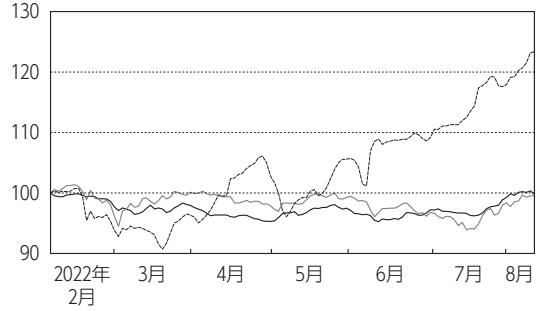
（指数は当作成期首を100として指数化しています。）

・新興国

新興国債券市場では、メキシコおよび南アフリカで金利が上昇した一方、トルコでは金利は低下（債券価格は上昇）しました。

米国を中心に世界的に金利が上昇する中、メキシコや南アフリカでは、インフレの加速や中央銀行による利上げを背景に金利は上昇しました。トルコでは、ウクライナ情勢を背景とした売り圧力が後退し、トルコ政府が金融機関に課した新たな規制により国債の需要が高まったことなどから、金利は低下しました。

債券指数の推移



― ＪＰモルガン ＧＢＩ－ＥＭメキシコ（メキシコ・ペソベース）
― ＪＰモルガン ＧＢＩ－ＥＭ南アフリカ（南アフリカ・ランドベース）
---- ＪＰモルガン ＧＢＩ－ＥＭトルコ（トルコ・リラベース）

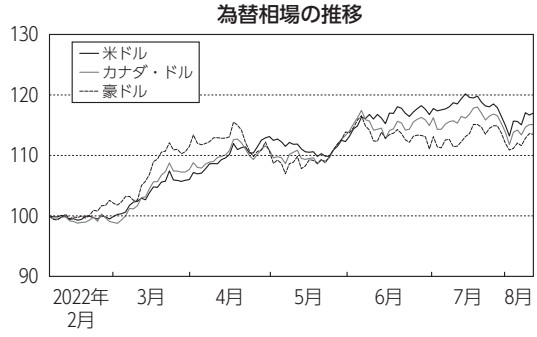
（指数は当作成期首を100として指数化しています。）

■為替相場

・先進国

先進国通貨の対円為替相場は上昇しました。

当作成期首より、米ドル円は、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げ観測の高まりを背景に米国金利が上昇したことなどから、大きく上昇しました。また、世界的に利上げ観測が高まっている一方で、日本の金融政策が相対的に緩和的であることなどから、米ドル以外の先進国通貨も対円で上昇しました。豪ドルやカナダ・ドルは、資源価格の上昇などを背景に、堅調に推移しました。

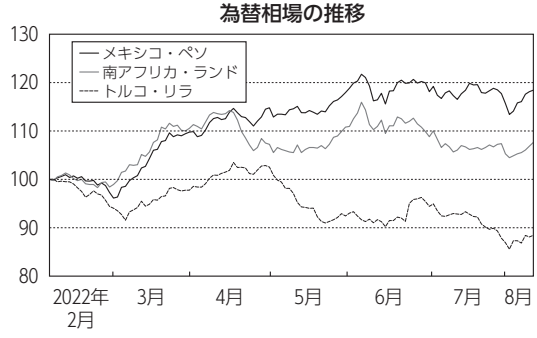


（為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。）

・新興国

新興国通貨の対円為替相場では、メキシコ・ペソや南アフリカ・ランドは上昇し、トルコ・リラは下落（円高）しました。

利上げの実施や米ドル円相場が円安米ドル高方向に進行したことなどにより、メキシコ・ペソや南アフリカ・ランドは、それぞれ対円で上昇しました。一方、インフレ率が高止まりする環境でも政策金利を据え置くトルコの金融政策に対する市場の信認が低下し、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに下落しました。



（為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。）

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40％程度から60％程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90％程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて （2022. 2. 11 ～ 2022. 8. 10）

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

当作成期中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

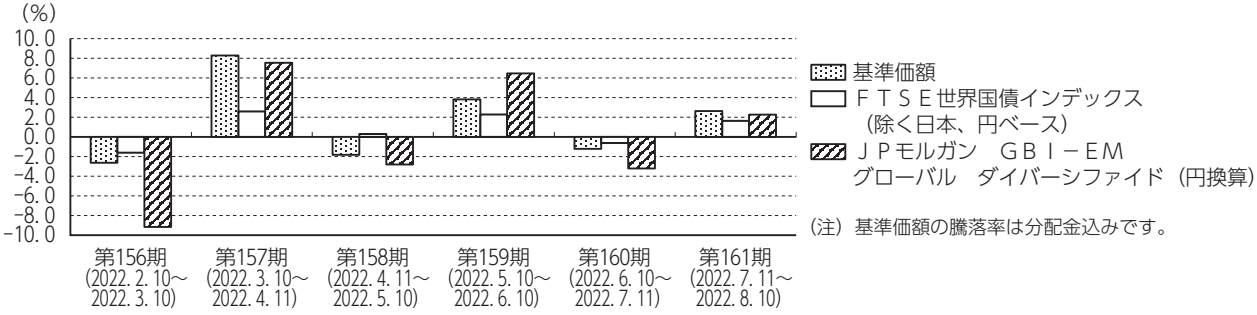
主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33. 3%、トルコ・リラ33. 3%、南アフリカ・ランド33. 3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債を中心に運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第156期 2022年２月11日～2022年３月10日	第157期 2022年３月11日～2022年４月11日	第158期 2022年４月12日～2022年５月10日	第159期 2022年５月11日～2022年６月10日	第160期 2022年６月11日～2022年７月11日	第161期 2022年７月12日～2022年８月10日
当期分配金(税込み)（円）	**20**	**20**	**20**	**15**	**15**	**15**
対基準価額比率（%）	0.49	0.45	0.46	0.34	0.34	0.33
当期の収益　（円）	14	20	15	15	15	15
当期の収益以外（円）	5	—	4	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	141	144	140	147	150	155

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 14.00円	✓ 22.88円	✓ 15.81円	✓ 22.16円	✓ 17.49円	✓ 20.83円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	61.36	61.45	61.55	61.62	61.72	61.78
(d) 分配準備積立金	✓ 86.34	80.27	✓ 83.08	78.83	85.92	88.36
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	161.72	164.62	160.45	162.63	165.14	170.98
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	15.00	15.00	15.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	141.72	144.62	140.45	147.63	150.14	155.98

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1万口当りの費用の明細

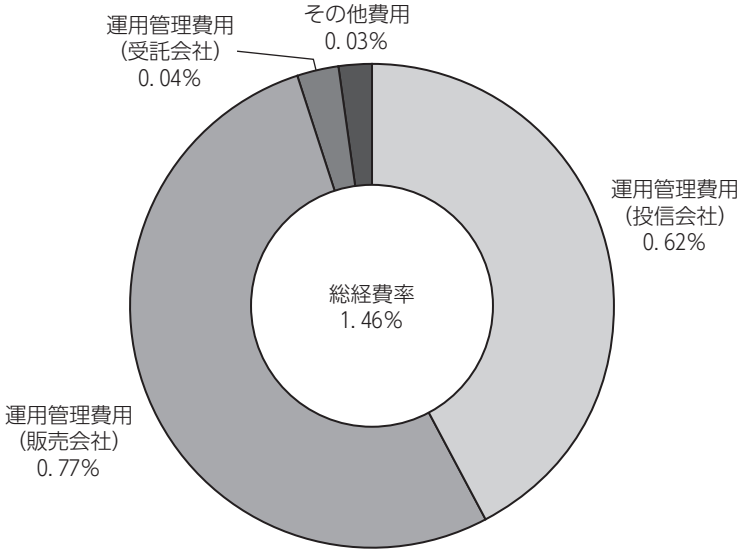
項　　目	第156期～第161期 (2022. 2. 11～2022. 8. 10)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	31円	0. 708%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は4, 344円です。**
（投 信 会 社）	(13)	(0. 305)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(17)	(0. 382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 021)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	―	―	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	―	―	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 015	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0. 011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	31	0. 723	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



（注1）1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2022年２月11日から2022年８月10日まで）

決算期	第156期～第161期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	—	—	265,844	533,810
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	—	—	457,912	632,990

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第155期末	第161期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	3,642,870	3,377,025	7,013,745
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	5,053,765	4,595,852	6,638,709

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年８月10日現在

項目	第161期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	7,013,745	50.9
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	6,638,709	48.1
コール・ローン等、その他	138,429	1.0
投資信託財産総額	13,790,884	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。

（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、８月10日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝135.25円、１カナダ・ドル＝104.92円、１オーストラリア・ドル＝94.05円、１トルコ・リラ＝7.549円、１メキシコ・ペソ＝6.678円、１南アフリカ・ランド＝8.17円です。

（注３）ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、第161期末における外貨建純資産（7,021,146千円）の投資信託財産総額（7,030,214千円）に対する比率は、99.9％です。
ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、第161期末における外貨建純資産（6,649,037千円）の投資信託財産総額（6,666,943千円）に対する比率は、99.7％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年３月10日）、（2022年４月11日）、（2022年５月10日）、（2022年６月10日）、（2022年７月11日）、（2022年８月10日）現在

項　　目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
（A）資産	**13,184,511,788円**	**14,044,873,663円**	**13,626,474,808円**	**13,951,196,806円**	**13,609,899,882円**	**13,790,884,027円**
コール・ローン等	142,027,817	146,378,302	141,968,069	128,909,102	127,488,000	125,843,518
ダイワ外国債券先進国マザーファンド（評価額）	6,844,393,908	7,161,896,953	6,983,932,637	7,220,343,853	7,066,060,953	7,013,745,166
ダイワ外国債券新興国マザーファンド（評価額）	6,192,495,508	6,731,216,857	6,484,449,556	6,581,237,555	6,405,104,130	6,638,709,261
未収入金	5,594,555	5,381,551	16,124,546	20,706,296	11,246,799	12,586,082
（B）負債	**83,161,176**	**84,435,297**	**93,002,814**	**81,613,414**	**73,474,022**	**73,863,759**
未払収益分配金	64,222,607	63,490,317	62,969,868	46,785,122	46,378,270	45,950,130
未払解約金	4,103,374	3,601,656	13,814,745	17,899,732	10,052,824	11,395,766
未払信託報酬	14,750,112	17,159,262	15,942,179	16,557,033	16,575,787	15,958,673
その他未払費用	85,083	184,062	276,022	371,527	467,141	559,190
（C）純資産総額（A－B）	**13,101,350,612**	**13,960,438,366**	**13,533,471,994**	**13,869,583,392**	**13,536,425,860**	**13,717,020,268**
元本	28,900,173,301	28,570,643,031	28,336,440,765	28,071,073,624	27,826,962,529	27,570,078,093
次期繰越損益金	△15,798,822,689	△14,610,204,665	△14,802,968,771	△14,201,490,232	△14,290,536,669	△13,853,057,825
（D）受益権総口数	**32,111,303,672口**	**31,745,158,927口**	**31,484,934,187口**	**31,190,081,808口**	**30,918,847,258口**	**30,633,420,107口**
１万口当り基準価額（C／D）	**4,080円**	**4,398円**	**4,298円**	**4,447円**	**4,378円**	**4,478円**

＊当作成期首における元本額は29,100,409,634円、当作成期間（第156期～第161期）中における追加設定元本額は148,614,246円、同解約元本額は1,678,945,787円です。
＊第161期末の計算口数当りの純資産額は4,478円です。
＊第161期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は13,853,057,825円です。

■損益の状況

第156期　自 2022年２月11日　至 2022年３月10日　　第158期　自 2022年４月12日　至 2022年５月10日　　第160期　自 2022年６月11日　至 2022年７月11日
第157期　自 2022年３月11日　至 2022年４月11日　　第159期　自 2022年５月11日　至 2022年６月10日　　第161期　自 2022年７月12日　至 2022年８月10日

項　　目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
（A）配当等収益	**△917円**	**△363円**	**△813円**	**△1,361円**	**△1,907円**	**△563円**
受取利息	4	—	1	5	16	1
支払利息	△921	△363	△814	△1,366	△1,923	△564
（B）有価証券売買損益	**△342,969,170**	**1,089,161,670**	**△233,517,907**	**526,283,979**	**△149,401,278**	**367,558,004**
売買益	31,672,972	1,097,086,290	2,849,270	528,671,428	1,866,519	368,860,556
売買損	△374,642,142	△7,924,620	△236,367,177	△2,387,449	△151,267,797	△1,302,552
（C）信託報酬等	**△14,835,195**	**△17,258,241**	**△16,034,139**	**△16,652,538**	**△16,671,401**	**△16,050,722**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**△357,805,282**	**1,071,903,066**	**△249,552,859**	**509,630,080**	**△166,074,586**	**351,506,719**
（E）前期繰越損益金	**△13,166,450,174**	**△13,420,610,260**	**△12,298,378,070**	**△12,482,482,430**	**△11,903,832,581**	**△11,996,819,896**
（F）追加信託差損益金	**△2,210,344,626**	**△2,198,007,154**	**△2,192,067,974**	**△2,181,852,760**	**△2,174,251,232**	**△2,161,794,518**
（配当等相当額）	(197,053,844)	(195,098,493)	(193,793,460)	(192,220,589)	(190,844,429)	(189,280,053)
（売買損益相当額）	(△2,407,398,470)	(△2,393,105,647)	(△2,385,861,434)	(△2,374,073,349)	(△2,365,095,661)	(△2,351,074,571)
（G）合計（D＋E＋F）	**△15,734,600,082**	**△14,546,714,348**	**△14,739,998,903**	**△14,154,705,110**	**△14,244,158,399**	**△13,807,107,695**
（H）収益分配金	**△64,222,607**	**△63,490,317**	**△62,969,868**	**△46,785,122**	**△46,378,270**	**△45,950,130**
次期繰越損益金（G＋H）	**△15,798,822,689**	**△14,610,204,665**	**△14,802,968,771**	**△14,201,490,232**	**△14,290,536,669**	**△13,853,057,825**
追加信託差損益金	△2,210,344,626	△2,198,007,154	△2,192,067,974	△2,181,852,760	△2,174,251,232	△2,161,794,518
（配当等相当額）	(197,053,844)	(195,098,493)	(193,793,460)	(192,220,589)	(190,844,429)	(189,280,053)
（売買損益相当額）	(△2,407,398,470)	(△2,393,105,647)	(△2,385,861,434)	(△2,374,073,349)	(△2,365,095,661)	(△2,351,074,571)
分配準備積立金	258,028,029	264,010,973	248,420,873	268,243,505	273,376,462	288,546,887
繰越損益金	△13,846,506,092	△12,676,208,484	△12,859,321,670	△12,287,880,977	△12,389,661,899	△11,979,810,194

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	44,972,761円	72,660,860円	49,800,740円	69,137,454円	54,095,657円	63,816,020円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	197,053,844	195,098,493	193,793,460	192,220,589	190,844,429	189,280,053
(d) 分配準備積立金	277,277,875	254,840,430	261,590,001	245,891,173	265,659,075	270,680,997
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	519,304,480	522,599,783	505,184,201	507,249,216	510,599,161	523,777,070
(f) 分配金	64,222,607	63,490,317	62,969,868	46,785,122	46,378,270	45,950,130
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	455,081,873	459,109,466	442,214,333	460,464,094	464,220,891	477,826,940
(h) 受益権総口数	32,111,303,672口	31,745,158,927口	31,484,934,187口	31,190,081,808口	30,918,847,258口	30,633,420,107口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金（税込み）	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	20円	20円	20円	15円	15円	15円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

FTSE 米国債インデックス（米ドルベース）、FTSE カナダ国債インデックス（カナダ・ドルベース）、FTSE オーストラリア国債インデックス（オーストラリア・ドルベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書　第27期　（決算日　2022年８月10日）

（作成対象期間　2022年２月11日～2022年８月10日）

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

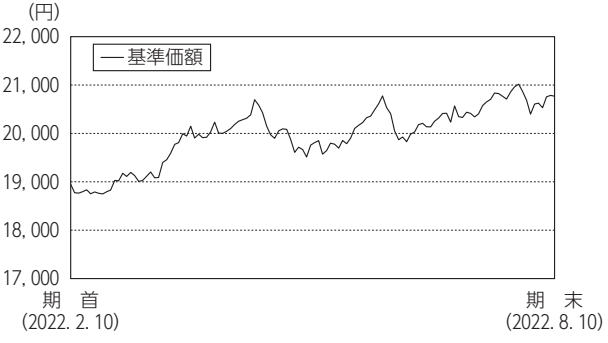
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)		公社債組入比率	債券先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	%
(期首)2022年2月10日	18,948	—	16,884	—	95.5	—
2月末	18,830	△ 0.6	16,700	△ 1.1	95.4	—
3月末	19,982	5.5	17,156	1.6	96.4	—
4月末	20,053	5.8	17,161	1.6	96.1	—
5月末	20,103	6.1	17,088	1.2	95.6	—
6月末	20,412	7.7	17,600	4.2	96.3	—
7月末	20,870	10.1	17,643	4.5	97.6	—
(期末)2022年8月10日	20,769	9.6	17,659	4.6	98.5	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
(注6) 債券先物比率は買建比率−売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
期首:18,948円　期末:20,769円　騰落率:9.6%
【基準価額の主な変動要因】
投資している債券の価格下落はマイナス要因となりましたが、債券の利息収入や投資対象通貨が円に対して上昇(円安)したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について
○先進国債券市況
先進国債券市況は金利上昇(債券価格は下落)しました。
当作成期首より、米国金利は、インフレ率の高止まりやFRB(米国連邦準備制度理事会)の金融引き締め姿勢などを背景に上昇しました。また、ロシアがウクライナに侵攻したことにより、原油をはじめとした資源価格が高騰したことで、インフレ期待が高まったことも、金利上昇につながりました。米国以外の先進国もインフレ率の上振れなどから金融政策正常化が意識され、金利は上昇しました。
○為替相場
先進国通貨の対円為替相場は上昇しました。
当作成期首より、米ドル円は、FRB(米国連邦準備制度理事会)の利上げ観測の高まりを背景に米国金利が上昇したことなどから、大きく上昇しました。また、世界的に利上げ観測が高まっている一方で、日本の金融政策が相対的に緩和的であることなどから、米ドル以外の先進国通貨も対円で上昇しました。豪ドルやカナダ・ドルは、資源価格の上昇などを背景に、堅調に推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」
主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて
主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。通貨配分につきましては、基本通貨配分(豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%)に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。
債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	2
(保管費用)	(1)
(その他)	(0)
合計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公社債

(2022年2月11日から2022年8月10日まで)

			買付額	売付額
外国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 2,500	千アメリカ・ドル 3,700 (—)
		地方債証券	1,697	— (—)
	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル 1,977 (—)
		地方債証券	1,014	501 (—)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル 1,771	千オーストラリア・ドル 1,739 (—)
		特殊債券	1,568	2,964 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公社債

(2022年2月11日から2022年8月10日まで)

当期 買付 銘柄	金額	当期 売付 銘柄	金額
	千円		千円
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 2.75% 2027/7/31	267,716	QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 3.25% 2026/7/21	279,268
CITY OF NEW YORK NY (アメリカ) 1.97% 2031/3/1	228,438	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2026/12/31	245,722
NORDIC INVESTMENT BK. (国際機関) 3.3% 2027/8/16	144,258	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2.25% 2025/6/1	201,872
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 1.75% 2051/6/21	120,038	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2041/5/15	172,416
ONTARIO PROVINCE (カナダ) 3.75% 2032/6/2	102,523	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 2.25% 2022/11/21	92,746
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 2.25% 2052/2/15	65,537	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.25% 2026/4/21	68,858
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 1.25% 2032/5/21	45,755	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 2.25% 2052/2/15	67,666
		ONTARIO PROVINCE (カナダ) 3.5% 2024/6/2	52,723

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	当期末							
区分	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	12,000	11,005	1,488,545	21.2	—	8.3	12.9	—
	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル						
カナダ	18,500	17,964	1,884,845	26.8	—	12.4	5.5	8.9
	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル						
オーストラリア	40,260	37,782	3,553,445	50.5	—	19.1	27.6	3.8
合計	—	—	6,926,836	98.5	—	39.8	46.0	12.8

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注4）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区分		当期末						償還年月日
		銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額		
						外貨建金額	邦貨換算金額	
				%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ		United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	5,000	4,737	640,794	2026/12/31
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	0.8750	3,000	2,578	348,689	2030/11/15
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	2.7500	2,000	1,978	267,657	2027/07/31
		CITY OF NEW YORK NY	地方債証券	1.9700	2,000	1,710	231,404	2031/03/01
通貨小計	銘柄数	4銘柄						
	金額				12,000	11,005	1,488,545	
					千カナダ・ドル	千カナダ・ドル		
カナダ		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.0000	4,000	3,674	385,539	2027/06/01
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	5,000	5,002	524,851	2024/06/02
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.7500	1,000	1,020	107,097	2032/06/02
		CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.9000	1,000	991	104,025	2024/06/15
		CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.6500	7,500	7,275	763,332	2028/12/15
通貨小計	銘柄数	5銘柄						
	金額				18,500	17,964	1,884,845	
					千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル		
オーストラリア		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.2500	1,300	1,356	127,609	2026/04/21
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.2500	600	503	47,321	2032/05/21
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	1,900	1,295	121,809	2051/06/21
		Airservices Australia	特殊債券	2.7500	2,860	2,848	267,880	2023/05/15
		TREASURY CORP VICTORIA	特殊債券	1.5000	4,000	3,326	312,893	2031/09/10
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	3.2500	9,000	8,987	845,231	2026/07/21
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3.0000	4,500	4,391	413,050	2026/10/19
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	1.1000	3,000	2,395	225,291	2030/11/18
		INTL. FIN. CORP.	特殊債券	1.2500	500	399	37,537	2031/02/06

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

区分		銘柄	種類	当期末 年利率	当期末 額面金額	当期末 評価額 外貨建金額	当期末 評価額 邦貨換算金額	当期末 償還年月日
				%	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千円	
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	3.1000	6,000	5,890	553,956	2026/08/17
		NORDIC INVESTMENT BK.	特殊債券	3.3000	1,600	1,562	146,942	2027/08/16
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	3.1000	5,000	4,826	453,922	2028/02/22
通貨小計	銘柄数	12銘柄						
	金額				40,260	37,782	3,553,445	
合計	銘柄数	21銘柄						
	金額						6,926,836	

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年8月10日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
公社債	6,926,836	98.5
コール・ローン等、その他	103,378	1.5
投資信託財産総額	7,030,214	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。
（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝135.25円、1カナダ・ドル＝104.92円、1オーストラリア・ドル＝94.05円です。
（注3）当期末における外貨建純資産（7,021,146千円）の投資信託財産総額（7,030,214千円）に対する比率は、99.9％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年8月10日現在

項目	当期末
(A)資産	**7,030,214,368円**
コール・ローン等	37,243,731
公社債（評価額）	6,926,836,019
未収利息	39,385,982
前払費用	3,976,962
差入委託証拠金	22,771,674
(B)負債	**—**
(C)純資産総額（A－B）	**7,030,214,368**
元本	3,384,987,706
次期繰越損益金	3,645,226,662
(D)受益権総口数	**3,384,987,706口**
1万口当り基準価額（C／D）	**20,769円**

＊期首における元本額は3,650,808,297円、当作成期間中における追加設定元本額は442,203円、同解約元本額は266,262,794円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－ 3,377,025,936円
ダイワ外国債券ファンド（年1回決算型）－ダイワスピリット（年1回）－ 7,961,770円
＊当期末の計算口数当りの純資産額は20,769円です。

■損益の状況

当期　自 2022年 2 月11日　至 2022年 8 月10日

項　　目	当　　期
（A）配当等収益	**92, 205, 841円**
受取利息	92, 180, 110
その他収益金	27, 411
支払利息	△ 1, 680
（B）有価証券売買損益	**554, 702, 707**
売買益	992, 673, 968
売買損	△ 437, 971, 261
（C）その他費用	**△ 605, 443**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**646, 303, 105**
（E）前期繰越損益金	**3, 266, 917, 522**
（F）解約差損益金	**△ 268, 387, 942**
（G）追加信託差損益金	**393, 977**
（H）合計（D＋E＋F＋G）	**3, 645, 226, 662**
次期繰越損益金（H）	**3, 645, 226, 662**

（注 1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注 2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書　第27期　（決算日　2022年８月10日）

（作成対象期間　2022年２月11日～2022年８月10日）

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

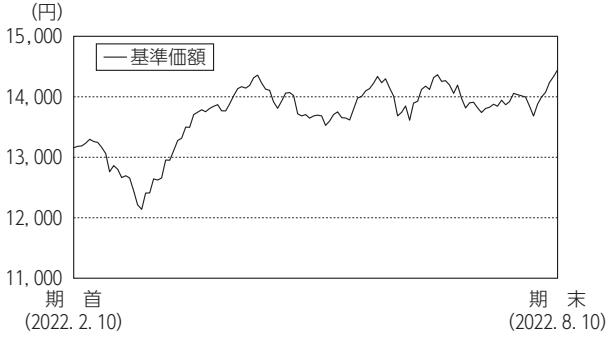
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		JPモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債組入比率	債券先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	%
(期首)2022年2月10日	13,156	—	20,092	—	95.6	—
2月末	12,862	△ 2.2	19,674	△ 2.1	95.7	—
3月末	13,785	4.8	19,654	△ 2.2	95.8	—
4月末	13,930	5.9	19,377	△ 3.6	95.2	—
5月末	13,981	6.3	19,714	△ 1.9	95.8	—
6月末	14,268	8.5	20,040	△ 0.3	96.1	—
7月末	13,997	6.4	19,602	△ 2.4	95.5	—
(期末)2022年8月10日	14,445	9.8	20,103	0.1	95.5	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) JPモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
(注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
期首:13,156円　期末:14,445円　騰落率:9.8%
【基準価額の主な変動要因】
投資している債券の利息収入および投資対象通貨の多くが円に対して上昇(円安)したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について
○新興国債券市況
新興国債券市場では、メキシコおよび南アフリカで金利が上昇(債券価格は下落)した一方、トルコでは金利は低下(債券価格は上昇)しました。
米国を中心に世界的に金利が上昇する中、メキシコや南アフリカでは、インフレの加速や中央銀行による利上げを背景に金利は上昇しました。トルコでは、ウクライナ情勢を背景とした売り圧力が後退し、トルコ政府が金融機関に課した新たな規制により国債の需要が高まったことなどから、金利は低下しました。
○為替相場
新興国通貨の対円為替相場では、メキシコ・ペソや南アフリカ・ランドは上昇し、トルコ・リラは下落(円高)しました。
利上げの実施や米ドル円相場が円安米ドル高方向に進行したことなどにより、メキシコ・ペソや南アフリカ・ランドは、それぞれ対円で上昇しました。一方、インフレ率が高止まりする環境でも政策金利を据え置くトルコの金融政策に対する市場の信認が低下し、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」
主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて
主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。
通貨配分につきましては、基本通貨配分(メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%)に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。
債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債を中心に運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■１万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	2
(保管費用)	(2)
(その他)	(0)
合計	2

(注１) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注２) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公　社　債

(2022年２月11日から2022年８月10日まで)

			買付額	売付額
外国	メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ —	千メキシコ・ペソ 28,645 (—)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド —	千南アフリカ・ランド 15,429 (—)

(注１) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注２) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注３) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公　社　債

(2022年２月11日から2022年８月10日まで)

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
		Mexican Bonos（メキシコ）10% 2024/12/5	149,433
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA（南アフリカ）8% 2030/1/31	63,481
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA（南アフリカ）8.5% 2037/1/31	61,344
		Mexican Bonos（メキシコ）6.75% 2023/3/9	33,364

(注１) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注２) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	当期末							
区分	額面金額	評価額		組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	%	%	%	%	%
トルコ	250,500	224,101	1,691,762	25.4	17.0	1.3	8.6	15.5
	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ						
メキシコ	442,000	428,061	2,858,721	43.0	—	22.0	10.6	10.4
	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド						
南アフリカ	286,270	220,603	1,802,329	27.1	—	27.1	—	—
合計	—	—	6,352,812	95.5	17.0	50.3	19.3	25.8

(注１) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注２) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注３) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注４) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区分		銘柄	種類	当期末 年利率	当期末 額面金額	当期末 評価額 外貨建金額	当期末 評価額 邦貨換算金額	当期末 償還年月日
				%	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	
トルコ		Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	22,800	20,095	151,706	2024/03/20
		Turkey Government Bond	国債証券	8.0000	32,900	26,927	203,274	2025/03/12
		Turkey Government Bond	国債証券	10.6000	26,000	22,289	168,267	2026/02/11
		Turkey Government Bond	国債証券	10.7000	41,800	41,744	315,135	2022/08/17
		Turkey Government Bond	国債証券	10.5000	14,000	11,521	86,978	2027/08/11
		Turkey Government Bond	国債証券	12.6000	30,000	27,012	203,923	2025/10/01
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	12.0000	16,000	14,017	105,822	2023/03/15
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	13.2500	25,000	21,517	162,437	2023/02/22
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	10.0000	23,000	22,277	168,173	2022/09/28
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	12.5000	19,000	16,696	126,041	2023/02/09
通貨小計	銘柄数	10銘柄						
	金額				250,500	224,101	1,691,762	
メキシコ					千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ		
		Mexican Bonos	国債証券	8.0000	115,000	109,466	731,048	2047/11/07
		Mexican Bonos	国債証券	6.7500	55,000	54,161	361,708	2023/03/09
		Mexican Bonos	国債証券	8.0000	50,000	49,071	327,710	2023/12/07
		Mexican Bonos	国債証券	10.0000	104,000	106,106	708,607	2024/12/05
		Mexican Bonos	国債証券	7.7500	118,000	109,256	729,645	2042/11/13
通貨小計	銘柄数	5銘柄						
	金額				442,000	428,061	2,858,721	
南アフリカ					千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド		
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	58,000	39,089	319,357	2036/03/31
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000	31,000	19,993	163,346	2041/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	56,000	44,892	366,770	2031/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	49,000	39,447	322,285	2048/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.5000	66,000	53,951	440,785	2037/01/31
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	26,270	23,229	189,782	2030/01/31
通貨小計	銘柄数	6銘柄						
	金額				286,270	220,603	1,802,329	
合計	銘柄数	21銘柄						
	金額						6,352,812	

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■投資信託財産の構成

2022年８月10日現在

項　　目	当　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
公社債	6,352,812	95.3
コール・ローン等、その他	314,130	4.7
投資信託財産総額	6,666,943	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、８月10日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝135.25円、１トルコ・リラ＝7.549円、１メキシコ・ペソ＝6.678円、１南アフリカ・ランド＝8.17円です。
（注３）当期末における外貨建純資産（6,649,037千円）の投資信託財産総額（6,666,943千円）に対する比率は、99.7％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年８月10日現在

項　　目	当　期　末
（A）資産	**6,666,943,095円**
コール・ローン等	127,838,574
公社債（評価額）	6,352,812,671
未収利息	186,291,850
（B）負債	**12,586,082**
未払解約金	12,586,082
（C）純資産総額（A－B）	**6,654,357,013**
元本	4,606,771,713
次期繰越損益金	2,047,585,300
（D）受益権総口数	**4,606,771,713口**
１万口当り基準価額（C／D）	**14,445円**

＊期首における元本額は5,065,243,696円、当作成期間中における追加設定元本額は390,625円、同解約元本額は458,862,608円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－　4,595,852,725円
ダイワ外国債券ファンド（年１回決算型）－ダイワスピリット（年１回）－　10,918,988円
＊当期末の計算口数当りの純資産額は14,445円です。

■損益の状況

当期　自 2022年２月11日　至 2022年８月10日

項　　目	当　　期	
（A）配当等収益		**319,406,189円**
受取利息		319,407,535
支払利息	△	1,346
（B）有価証券売買損益		**305,828,406**
売買益		763,154,964
売買損	△	457,326,558
（C）その他費用	△	**947,881**
（D）当期損益金（A＋B＋C）		**624,286,714**
（E）前期繰越損益金		**1,598,565,143**
（F）解約差損益金	△	**175,417,065**
（G）追加信託差損益金		**150,508**
（H）合計（D＋E＋F＋G）		**2,047,585,300**
次期繰越損益金（H）		**2,047,585,300**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。